

# ようこそ 図書館へ

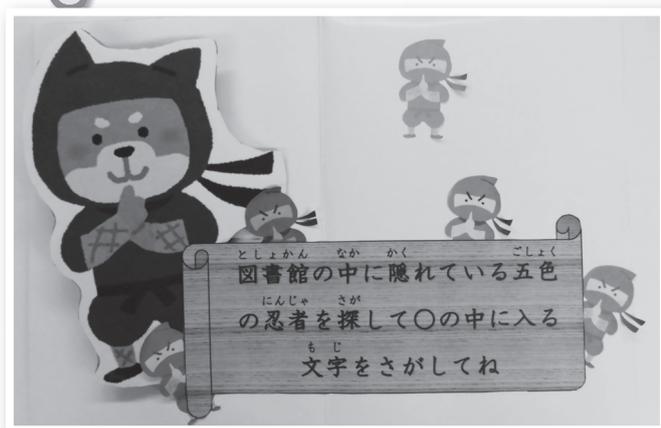
第19号

2015年11月  
津市図書館



## おもな 内容

- P 1～P 3…マナーアップキャンペーンを実施しました！
- P 4……………レファレンス事例集
- P 5……………知ろう私たちの郷土



マナーアップキャンペーン実施しました！

平成27年7月31日～8月26日

## 図書館ではマナーを守るでござる～！

津市図書館（9館2室）では、毎年図書館でのマナーから社会におけるマナーについて考えてもらおうと全館一斉にマナーアップキャンペーンを実施しています。今年度の各図書館の取組みをご紹介します。

### マナーについての5つのきまり

- ① 読 むべし、ただししずかにでござる
- ② 書 き込み、落書きするべからず
- ③ は っ！ 携帯☎禁止（撮るのも、話すのも）
- ④ 大 人は子どもの手本となるのじゃ
- ⑤ 切 り取り、自分のものにすべからずじゃ

として忍者のおきてになぞらえて、きまりを決めることで図書館でのマナーについて考えていただけるようにしました。

### 津図書館

入ってすぐのブラウジングコーナーのガラス面にマナークイズのポスターを設置しました。忍者の



イラストを見てテレビの戦隊もののヒーローを思い出した男の子が忍者のまねをしていたり、子連れのお母さんが5つのきまりを読みながら「これってあたりまえやん。」と言われたりと、それぞれの年代での捉え方は違いますが、図書館でのマナーについて考えていただけるよい機会になったと思います。

### 久居ふるさと文学館

玄関正面にポスターの犬の忍者がお出迎えし、マナーについての5つのきまりを宣言しています。児童コーナーには「クイズ



でござる！」と題しマナーについてのクイズをあちらこちらに貼りました。9問のクイズがバラバラになっていたの、子どもたちはクイズを1つ1つ探し出しながら楽しんでいました。なかにはクイズがなかなか見つからない子や1か所ずつ真剣に答を確認している子もいました。みんなで守るマナーについて、クイズを通して考えてくれていたと思います。

### ポルタひさいふれあい図書室

手狭な室内のため、クイズは奥まった視聴コーナーの脇にずらりと連貼りすることになりました。それでも子どもたちは結構注目してくれて、3択の答え合わせをめくりながらクイズに挑戦していました。クイズの問題は簡単だったかもしれませんが、これをきっかけに、そのところどころでのマナーについてや自分と周囲の人との関係について考えてもらえたらと思います。

### 河芸図書館

河芸図書館では、ニンジャと一緒に図書館でのマナーを考えてみようとして折り紙でニンジャを作り、ニンジャが



図書館を利用する時の様子を問題にして、その内容がいいのか悪いのかを答えていくクイズ形式にしました。

巻物を開いていくと答えがわかるようになっていて、なぜ悪いのか理由も一言書きました。

子どもたちは楽しんでクイズに参加していました。汚れた本にもニンジャの折り紙とコメントをつけたところ、1冊ずつ読んで、本を大切にしなければと親子で話し合っている姿がよく見かけられました。

図書館のマナーについて考えるいい機会になったのではないかなと思います。

### 芸濃図書館

「おしゃべりはやめようね」夏休みは子どもたちがいっぱい図書館に来てくれます。涼しいところで

いっぱいおしゃべりをしたい気持ちはわかるのですが、図書館は静かに本を読むところ。優しく声をかけると小さな声で「はい」と返ってきます。一度でわかってくれる子、何度も繰り返さないとわかってくれない子、いろいろです。でも、ほとんどの子どもは最後には静かに本を読んでくれるようになります。この夏、自分だけではなく周りにいる人のことを思いやる気持ちを図書館で学んでもらえたのならありがたいですね。

### 美里図書館

「おかしをたべながら、ほんをよんでもいいでござるか？」など3つのクイズで問いかけを行い、正しいと思うところにシールを貼っていただくようにしました。小さい子どもさんはお家の方に読んでもらって「いい!」「あかん!」などとやりとりしながら、またシールを貼るといふ楽しさも味わいながら、マナーについて考えていただく良い機会になりました。



### 安濃図書館

館内に隠された、「マナーアップ5つの言葉」を探し、回答用紙に書き込んでカウンターへ提出すると手裏剣しおりがもらえるキャンペーンを行いました。

家族や兄弟、友達同士が館内をめぐって言葉探しをしながら、図書館マナーを話し合う光景が見え、のべ45名の参加がありました。

楽しみながらも図書館に大切なことを学べた機会になりました。



### きらめき図書館

平成27年のマナーUPのテーマは忍者でした。

子どもたちは朝からTV番組にはまり、伊賀地域では忍者衣装のレンタルをして街中を闊歩するというくらいいつの時代



も忍者はヒーローです。

そこで津地域にも忍者に役かってもらいマナーを考えてみようということになりました。

きらめき図書館ではマナーに関する本の展示、マナークイズの実施するとともに、折り紙手裏剣をプレゼントしたり、手裏剣折り方講座を随時開催し大盛況のうちに幕を閉じました。(ドロン)

### 一志図書館

マナーに関する〇×クイズを実施しました。

館内に五か所設置し、〇か×か思う方にシールを貼ってもらいました。

ポスターには忍者の掟になぞらえた図書館のきまりも書いてあるので、簡単だと思ったのですが、不正解の方にもシールが…!?

子どもの参加が多かったので、わざとかなとも思います。正解でなくても、裏のコメントを読んでいただいて、マナーについてちょっと考え直すきっかけになったかなと思います。

### うぐいす図書館

入ってすぐの正面にマナーアップキャンペーンの特設コーナーを作りました。

マナーに関するクイズをはじめ、図書館マナーブックの配布、マナーに関する本の紹介などを行いました。中でも『つうとしょ忍法』が記された巻きものは人気で、たくさんの方が巻きものを手に取る姿が見られました。また、クイズの参加者には小さな巻物をお渡ししましたので、帰ってからも友達や家族とマナーについて話し合う機会になればと思います。「すべての忍法を習得すれば、図書館マナーの達人じゃ!」



### 美杉図書室

図書室内の壁と出入口のドアにポスターを掲示し来室された方へ啓発を行いました。ポスターを見ながら、「図書館では静かにしようね」と話す親子の姿がみられました。

# レファレンス事例集

**Q** セミの鳴く時期について。一番早く鳴くセミは何セミか？

**A** 「ハルゼミ」が本州では4月下旬から鳴き始め九州では3月末から鳴き始める。沖縄地方では、「イワサキゼミ」が3月上旬頃から鳴き始める。

参考文献「セミの生活を調べよう」林 正美/著  
さ・え・ら書房  
「セミの一生」橋本 治二/著 あかね書房

**Q** 本居宣長の著書で、「三重県」の「三重」の由来が古事記に記されているということを見たが詳しく知りたい。

**A** 「三重」の由来は「古事記」に、日本武尊が東征の帰途に三重郡三重村あたりで「足が三重の匂いのごとく、いと疲れたり」と語ったことから「三重」と名付けたと言われている。

宣長は、「古事記」を注釈したものとして「古事記伝」全44巻を著した。

参考文献 「本居宣長全集」筑摩書房11巻「古事記伝」3の28巻



『とにかくうちに帰ります』 津村 記久子著 新潮社

豪雨で帰宅困難になった人たちを描く表題作のほか、とある会社で起こる出来事を綴った作品です。物語の中の1つ「職場の作法」では、あまり成績がよくないフィギュアスケート選手を応援する人や職場の男性社員にペンを返してもらえない人などそれぞれの日常が丁寧に描かれています。その光景が目には浮かび思わず笑ってしまいます。自分の日常も振り返りたくなるそんな1冊です。

『木を植えた男』 ジャン・ジオノ/作、フレデリック・バック/絵、寺岡襄/訳 あすなろ書房

南フランス・プロヴァンス高地を旅する若者は、そこに暮らすある男に出会います。彼はたった一人で荒れ果てた地に木を植えて続けているのでした。時にうまくいかないことがあっても、男は種をまくことをやめません。戦争が起こり、世界では人間によって破壊が繰り返されていきますが、それと離れたところで男はただ黙々と木を植えます。長い年月が経ち、人気もなく地肌もむき出しだったあの寂しい場所は、果たして…？ 静かに命を生み出していった、一人の男の物語です。第5回ようちえん絵本大賞受賞作品です。

図書館員の  
ひとりのこと

雨の日のできごと

雨が降っていて来館者も少ない平日の午後、どこからか子どもの声が聞こえてきます。耳をすますと、女の子のようです。しかも声というより歌声……。

カウンターから離れ、声のする薄暗い一角に向かいます。

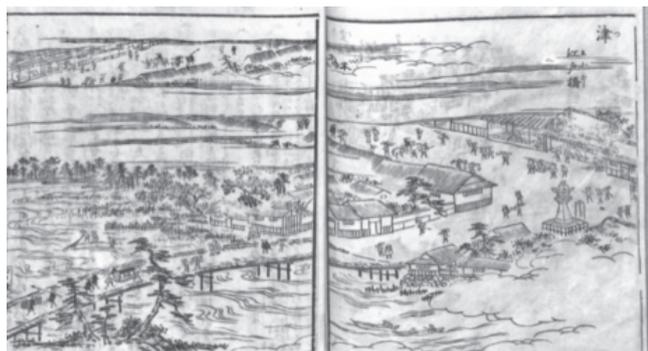
そこにはまだ幼稚園くらいでしょうか、女の子がひとり椅子に座っていました。近づいていってもこちらに気がついていないのかずっと一点を見つめたまま、小さな声で歌を歌っています。更に近づいて、その女の子の耳元で話しかけます。「ビデオ見ながら一緒に歌うのはやめてね」

# 知ろう私たちの郷土

## 津市の名所と観光案内 川上 裕子

旅行が一般の人々の間に娯楽として広まったのは江戸時代中期頃だと言われています。当時のガイドブックである「名所図会」も作られ、道中の宿場町や観光名所、名物などが載っていました。明治以降になるとそれぞれの県や都市、名所ごとに案内が作られるようになり、現在では地図と名所だけではなく、様々な観光プランやツアーを載せたものも多く作られています。

津市は、日本三津の一つとして古くから交易の場として栄えていました。更に伊勢神宮に向かう伊勢街道の宿場であり、専修寺や観音寺への参詣者で賑わっていました。明治以降には御殿場海岸や阿漕浦などに海水浴場が登場し、人気になりました。そこで今回は、津図書館の特殊コレクションである「橋本文庫」と「古地図」の中から、江戸時代から昭和初期までの津市の観光に関する資料をいくつか紹介しようと思います。



まずは江戸時代。上の写真は、『伊勢参宮名所図会』（「橋本文庫」（請求番号 L29-1～12、13～18））の巻三に描かれた「江戸橋」の様子です。当時、江戸橋は『名所図会』に「大部田北の入口の方の土橋なり/東國往来の追分にして傍に常夜標名有」と説明があるように、東国（江戸）に向かうために必ず通る橋でした。他にも名所として、塔世橋や四天王寺、恵日山観音寺（津観音）、阿漕浦、上宮寺、岩田橋など、市内の寺社や風景が挙げられています。

次に明治28（1895）年に刊行された「洞津みやげ（洞津美也藝）」（「橋本文庫」同L29-60）があります。ここでは塔世川や四天王寺、高山神社など現在でもお馴染みの場所が紹介されており、津市の名産品や市街地の地図も載っています。

大正11（1922）年には「津市遊散案内」（「橋本文庫」同L29-68/古地図109番）が、昭和5（1930）年には「津市観光図」（古地図90番）が刊行されました。これらはカラーの折りたたみの地図1枚に、主な建物や場所の名前を書いたものです（ここでは岩田川（橋）、偕楽公園、津城址、阿漕浦、楯干、結城神社、恵日山観音寺（津観音）などの名前が見えます）。その地図や表紙の裏には津市の概要や観光名所の説明と「茄子団扇」などの名物、旅館や食事所の住所と電話番号も載っています。また「津市観光図」の場合は、地図に伊勢電気鉄道の路線と電車、道路とバスも描かれ、人気の娯楽であった劇場やキネマ常設館（映画館）も紹介されています。

こうした様々な時代の案内を見比べてみると、それぞれの時代の観光や旅の姿と変化を感じられるかと思えます。これらの地図や資料は、二階レファレンス室で閲覧いただけます。

### 主な参考文献

梅原三千・西田重嗣著『津市史』1・3・5巻（津市役所 昭和34（1959）・36（1961）・44（1969）年）、津市編・刊『'89津市市制施行100周年記念誌』（平成2（1990）年）、大石学編著『江戸時代のすべてがわかる本』（ナツメ社 平成21（2009）年）、津市教育委員会文化課編『歴史散歩 総集編』（津市役所 平成11（1999）年）、三重県教育委員会編『伊勢街道 朝熊岳道・二見道・磯部道・青峰道・鳥羽道』（昭和62（1987）年2版）、津市教育會著『津市郷土読本』（別所書店 昭和12（1937）年）（他）

# 休館日・開館時間などのご案内

※下記の休館日のほかに特別整理期間（年1回、14日以内）や、臨時に休館することがあります。詳しくは、図書館カレンダー、津市図書館ホームページなどをご覧ください。

津市図書館ホームページ及び携帯版ホームページ  
<http://www.library.city.tsu.mie.jp/>



携帯電話QRコード

館名	開館時間	休館日
<b>津図書館</b> ☎ 229-3321 〒514-8611 西丸之内 23-1 津リージョンプラザ内	平日 9:00～19:00 土・日曜日、祝・休日 9:00～17:00	
<b>ポルタひさいふれあい図書室</b> ☎ 254-0464 〒514-1118 久居新町 3006 ポルタひさいふれあいセンター内	平日 10:00～21:00 土・日曜日、祝・休日 10:00～18:00	
<b>芸濃図書館</b> ☎ 265-6004 〒514-2211 芸濃町椋本 6824 芸濃総合文化センター内	9:00～17:00	
<b>安濃図書館</b> ☎ 268-5822 〒514-2326 安濃町東観音寺 418 サンヒルズ安濃内	10:00～18:00	
<b>久居ふるさと文学館</b> ☎ 254-0011 〒514-1136 久居東鷹跡町 2-3	平日 9:00～18:00 土・日曜日 9:00～17:00	
<b>河芸図書館</b> ☎ 245-5300 〒510-0314 河芸町浜田 782	10:00～18:00	火曜日 毎月最終木曜日 年末年始（12月28日～1月4日）
<b>美里図書館</b> ☎ 279-8122 〒514-2113 美里町三郷 51-3 美里文化センター内	9:00～17:00	
<b>きらめき図書館</b> ☎ 292-4191 〒514-0314 香良洲町 2167 サンデルタ香良洲内	9:00～17:00 （7・8月の平日は 18:00まで）	
<b>一志図書館</b> ☎ 295-0116 〒515-2521 一志町井関 1792 とこよめの里一志内	10:00～18:00 （7・8月の平日は 19:00まで）	
<b>うぐいす図書館</b> ☎ 262-5000 〒515-2602 白山町二本木 1139-2 白山総合文化センター内	平日 10:00～18:00 土・日曜日 9:00～17:00	
<b>美杉図書室</b> ☎ 272-8092 〒515-3421 美杉町八知 5828-1 美杉総合開発センター内	9:00～17:00	

本の返却は期限内に

ようこそ図書館へ 第19号

発行日/平成27年11月1日 編集及び発行/津市教育委員会 津市津図書館  
 三重県津市西丸之内23番1号津リージョンプラザ内 ☎(059)229-3321